



taoduefilm
a mediaset group

HOLLYWOOD Classics

KAROL

A man who became Pope

聖
列
記
念

「カ ロ ル」―― 教皇になった男 こ い に 日 本 上 陸 !!



数多くの賞に輝く
エンニオ・モリコーネの音楽に乗せて
教皇ヨハネ・パウロ二世誕生までの
半世紀を描いた感動の歴史ドラマ

物語・制作：ピエトロ・ヴァルゼッキ

脚本・監督：ジャコモ・バッチアート

日本語字幕版製作：カロール日本語字幕版 DVD 製作委員会

後援：上智大学

推薦：カトリック中央協議会広報、SIGNIS JAPAN（カトリックメディア協議会）

聖ヨハネ・パウロ二世の半生を描いたテレビ映画「KAROL―教皇になった男」の日本語字幕版DVDがこの秋に完成し、日本でもこの大作が御覧いただけるようになりました。聖ヨハネ・パウロ二世は今年4月27日に現教皇フランシスコに聖人の位に列せられた第264代のローマ教皇でその茶目っ気のある人柄と確固たる信念で激動期のカトリック教会を導き、その行動力では「空飛ぶ教皇」と呼ばれました。日本にも1981年2月に来日され、東京、広島、長崎と巡り、特に広島の「平和アピール」は今でも多くの人々の心に焼き付いています。そのヨハネ・パウロ二世の青年時代から教皇になるまでを描いたのが本作で、ポーランド・イタリア合作の3時間に亘る大作です。英仏独西語他にも訳され2005年に欧米を中心にテレビ放映され、大反響になったものです。このテレビ映画は、東西冷戦当時の東ヨーロッパの歴史的な状況を知る上でも教育的に大変価値ある作品です。

STORY

1939年9月、ポーランドのクラクフの町はドイツ軍の空爆を受け、カロル・ヴォイティワとその仲間たちは必死で教会の鐘を鳴らしていた。町から避難する群衆と共に、たった一人の家族である父を守り、町を出たカロルたちの上にも、ドイツ軍は情け容赦なく機銃掃射を加え、カロルの目の前で子供を含め多くの人々が殺されてゆく。病身の父を連れ、戻ったクラクフの町は、由緒あるヴァヴェル城もカテドラルもナチスに占拠され、ユダヤ系の住民たちは次々とゲットーに連行される。

ポーランドの文化を根絶やしにしようと、大学を閉鎖し、知識人を処刑し、あらゆる文化活動を弾圧するナチスに、仲間たちのなかには武器をとり地下組織のレジスタンスに加わるものもいる一方、カロルと演劇の仲間たちは、地下にもぐり演劇の活動を続けることで、抵抗する。

恐怖と絶望、悲しみと憎しみが支配するまっただ中で苦悩する中、不思議な出会いや、友人で司祭のトマスの言葉に、次第にカロルは「愛」だけが解決に導く道であると確信し、聖職者の道を進みたいとトマスに打ち明け、地下神学校へ入る。カロルの精神的支えであるそのトマスも、信仰あるドイツ人将校の処刑に立ち会い、自らもその場で処刑されてしまう。

やがてドイツ軍は敗退し、カロルはクラクフの司祭をしながらルブリン大学で教鞭をとり、若者たちに大きな勇気を与えてゆく。ドイツ軍撤退の後ポーランドに侵入してきた共産党は、カロルの言論の力を恐れ、スパイを送り込み、講義やミサ、告解などすべてを盗聴させる。

政府の軍隊は自由を求める労働者たちのデモに発砲し、死傷者を出す。それでも、カロルは非暴力による解決を説き、新しい教会の建設を求める。そして、新しい教会の建設を求める集会を武力で解散させようとする軍隊の前にカロルが立ちをはかる。

バチカンもカロルの活躍に注目し、やがて教皇ヨハネ・パウロの急逝の後、新進気鋭の教皇としてカロルが選出され、教皇ヨハネ・パウロ二世が誕生する。



「カロー 教皇になった男」推薦文

「本物だ!!」と強い衝撃をうけた。1981年、来日された教皇ヨハネ・パウロ二世が、夜、ひとり寝所を抜け出され、聖堂で祈っておられる後姿を見た時のことだ。

祖国ポーランドのあまりに過酷な歴史の中から、これほどまでに深く、大きな愛の教皇が生まれた。この偉大な教皇様の誕生までの半世紀を、ぜひ、あなた自身の目で見て、深く心に刻んでほしい。

ヨゼフ・ビタウ

カトリック教会大司教

元上智大学学長 元バチカン教育省局長

「『カロー』を見たか」

こうして、聖ヨハネ・パウロ二世教皇様の映画の推薦文を書くなんて、なんと光栄なことだろう!

たぶん筆者は、聖ヨハネ・パウロ二世の訪日ミサ、大聖年のワールドユースデーミサ、葬儀ミサ、列聖式ミサの、すべてに出席した唯一の日本人だと思うが、この教皇をわが親と慕ういわゆる「ババチルドレン」としては、ただただ、敬愛するこの「ババ」の映画を一人でも多くの人に見てもらいたいという気持ちでいっぱいである。

見れば、分かる。このババが若いころからどれほど重い十字架を背負ってきたか。それでいながら、どれほど強くしなやかに信仰と希望を保ち続けてきたか。多くの困難の中で、司祭、司教としてどれだけ人々を愛し、教会を愛し、キリストを愛し続けてきたか。だからこそ彼は教皇に選ばれ、人々に愛され、世界を導くことさえ出来たのだ。

映画で扱われているのは彼が教皇になるまでだが、一つひとつのエピソードに感動して涙を流しているうちに、「なるほど、だから彼は教皇としてああ言ったのか、だからあのように行動したのか」と目を開かれる思いがして、いっそう親愛の情が増した。ちょうど一人の息子が、亡き父の若いころを知って、いっそう父への理解と愛情を深めるように。

ヨハネ・パウロ二世の帰天後、彼をもっと知るために、ゆかりの地を回る巡礼旅行を三回に分けて行ったのだが、行く先々で現地の人に聞かれたものだ。「『カロー』を見たか」と。「まだだ」と答えるたびにひどく悔しい思いをししてきたのだが、このたびついに日本語版が出ることになって、本当にうれしい。

改めてこの作品を見て、彼らが「『カロー』を見たか」と、目を輝かせながら尋ねる気持ちがよく分かった。その画面には、今も現実に人々を救っている、生きたキリストが映っているのだから。

おかげでこれからは、こちらが聞いて回る番になった。「『カロー』を見たか」、と。

晴佐久昌英（カトリック多摩教会主任司祭）

「KAROL カロー 教皇になった男」日本語字幕版 DVD 申込書

頒布価格 1枚 3,000円（税込）

FAX 送付先 03-3269-4850

お申込日 年 月 日

以下のように
DVDを
申し込みます。

(フリガナ)

お名前

ご住所

お電話・
携帯電話

FAX番号

枚

カロー日本語字幕版 DVD 製作委員会：

(メール) info@karoldvd-jc.org (URL) http://www.karoldvd-jc.org/
〒183-0014 東京都府中市は政 3-5-19 町田方 TEL：03-3789-1324 (土日祝日を除く 10:00～17:00)

お申し込み方法

ご希望の方はHP、メール、FAXまたはハガキでお申し込みください。

① ウェブサイト：<http://www.karoldvd-jc.org/>

② メール：info@karoldvd-jc.org

③ FAX：03-3269-4850

(左の申込書にご記入の上、FAX お願いします)

④ ハガキ：〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学ソフィア会事務局内

「カロー日本語字幕版 DVD 製作委員会」宛

お支払い方法

銀行振込、郵便局支払、コンビニ支払、Pay-easy支払がご利用いただけます。※送料82円＋決済手数料190円又は振込手数料は、お申込者様の負担にてお願いいたします。(同時に2枚以上お買い求めの場合は2枚目以降の送料・手数料は不要です)